

学科名	経営ビジネス学科							
科目名	福祉人間工学							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次後期			
必修・選択の別	選択							
担当者	大箸純也							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会における福祉の必要性について生物学的観点から知る ・障害、さまざまなヒトによって社会が構成されていることを知る ・子供に対する安全確保の概略を知る ・老化の問題とその対応方法について知る ・視覚、聴覚、運動などの機能障害および知的障害における問題と対策を知る 							
日程と内容	<p>9月18日 授業概要、福祉人間工学と経営、幸福について</p> <p>9月25日 ノーマライゼーション、障害についての考え方（属性として、分類）</p> <p>10月02日 ユニバーサルデザイン例、障害者を支援する法：ADA、バリアフリー新法、総労働力投資法、障害者雇用促進法</p> <p>10月09日 生物の進化から見たヒトの障害の考え方。共感を持つために</p> <p>10月16日 成長の特徴。子どもの安全、事故事例、チャイルドプルーフ、安全基準、リスクとハザードの意味するもの</p> <p>10月23日 ハザードの例、知的障害者への考慮、発達障害：概要、広汎性発達障害</p> <p>10月30日 発達障害：LD、AHDH</p> <p>11月06日 発達障害のビデオ（就労、感覚過敏、LDでの見え方）</p> <p>11月13日 発達障害の具体的な対応。寿命、老化での一般的な問題、形態的变化、骨に関する問題</p> <p>11月20日 高齢者の筋機能、歩行（手すりの階段の前まで）</p> <p>11月27日 段差、階段、生活動作能力評価、視機能</p> <p>12月04日 脊髄損傷</p> <p>12月11日 高齢者：聴覚機能。内部障害</p> <p>12月18日 高齢者：その他の生理機能（体温調節）、精神機能、事故、後半演習試験</p> <p>1月08日 車いす：問題とその要因、構成。第2回演習試験</p> <p>1月22日 車いす：重心問題、設定、移乗、傾斜の単位。第3回演習試験</p>							
成績評価基準	定期試験	64%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	36%	計	100%				
授業到達目標の達成度	視聴覚の障害については全くできませんでした。また、車いすに関しても、演習試験を削る形でしか行えませんでした。そのほかはできたにしても、せいぜい9割でしょう。							
反省点	伝えるべきことは伝えたと考えています。							
来年度の計画	今年度が最後の授業となります。							
授業評価アンケートに対するコメント	例年と比べて、授業自体の変化はあまり無いと考えますが、興味のもたれ方、理解度が低くなっています。最後なので私の気力が低下したのかもしれない。そうだとしたら、申し訳ございません。							
履修登録者数	100名	定期試験 受験者数	94名	合格者数	86名	合格率	91%	